

HeartCore コンテンツビルダー機能マニュアル October 2019 Ver1.0



改訂履	覆歴
-----	----

	改訂日	改訂内容
初版	2019年10月	新規作成

HeartCore

目次

1.	本文	書の目的 4 -
1	.1.	目的4-
2.	機能	概要
2	.1.	コンテンツビルダー機能について4-
2	.2.	利用可能なユーザ権限
3.	利用	手順4-
3	.1.	コンテンツビルダーアイコン4-
3	.2.	コンテンツビルダー専用エディタ5-
3	.3.	エディタエリア6-
3	.4.	操作の説明
3	.5.	編集ツールバー7-7-
3	.6.	カメラアイコン8-
3	.7.	リンクアイコン
4.	コン	テンツビルディングブロックのカスタイマイズ
4	.1.	コンテンツビルディングブロックの作成9-
4	.2.	コンテンツスニペット9-
4	.3.	コンテンツスニペットカテゴリ
5.	@@	@ 関数の利用方法
5	.1.	@@@ や ### を NOBR タグで囲みエスケープする方法11-
5	.2.	カスタマイズした Java スクリプトを利用する方法
6.	注意	事項12-
6	.1.	コンテンツビルディングブロックについて12-
6	.2.	@@@関数について12-
6	.3.	スタイルシートについて



1. 本文書の目的

1.1. 目的

本文書は、HeartCoreの標準機能として v10 より追加された「コンテンツビルダー機能」を説明した文書となります。

本文書を参照することで、該当機能の一通りの操作を行うことができることを目的としております。

2. 機能概要

2.1. コンテンツビルダー機能について

ページコンテンツを一つのコンテンツビルディングブロックとして用意し、ウェブサイトページにド ラッグ&ドロップで配置する事で、より直感的にウェブサイトページのレイアウトを組み立てる事が 可能となり、レイアウトに必要な工数を軽減する事が出来ます。

2.2. 利用可能なユーザ権限

コンテンツビルダー機能を利用することができるユーザは、コンテンツの編集権限を保有する管理 者となります。

3. 利用手順

3.1. コンテンツビルダーアイコン コンテンツビルダー機能は、HeartCore Web エディターより利用します。

HeartCore Web エディターで「リボン」を利用している場合は、ビルダー > コンテンツビルダー アイコンをクリックします。

【リボン利用時の例】

コンテンツ	
ファイル ホーム 挿入 テーブル	フォーム ビルダー レビュー 🦘 🧱 🗟 !
	▲ メディアの挿入(画像/Flash/Javaアプレット) ● ハイパーリンクの挿入
コンテンツビルダー スニペットの挿入	(目) 表の挿入
ビルダー Content	挿入

HeartCore Web エディターで「ツールバー」を利用している場合は、コンテンツビルダーアイコンをクリックします。

【ツールバー利用時の例】



A



3.2. コンテンツビルダー専用エディタ

コンテンツビルダーアイコンをクリックすると、コンテンツビルダー専用エディタが表示されます。 コンテンツビルダー専用エディタは、編集中のコンテンツが左側のエディタエリアに表示され、使用 可能なコンテンツビルディングブロックが右メニュー表示されます。



右メニューでは、上部プルダウンメニューにて、コンテンツビルディングブロックをカテゴリ別で切り替えて表示することが可能です。また、下部にあるズームスライダでは、エディタエリアに表示された コンテンツの拡大/縮小表示が行えます。

LOREM IPSUM IS SIMPLY DUMA THE PRINTING AND TYPESETTIA	NY TEXT OF NG INDUSTRY	
LOREM IPSUM IS SIMPLY TEXT OF THE PRINTING I	Y DUMMY INDUSTRY	
Lorem (grum		
BEAUTIFUL CONTENT. RES	PONSIVE.	

※ズームスライダは、実際のコンテンツのサイズが変更されるわけではなく、エディタエリアでの表示が変わるだけですのでご注意ください。



3.3. エディタエリア

エディタエリアには、編集中のコンテンツが表示されます。

簡易的な編集は可能ですが、詳細な編集については、実際の HeartCore Web エディターにて編集す る必要があります。



※本キャプチャはイメージ図となります。

3.4. 操作の説明 右メニューの中から、使用したいコンテンツビルディングブロックを選択し、エディタエリア内の挿 入したい位置へドラッグします。

挿入位置に水平バーが表示され、そのコンテンツビルディングブロックがどこに挿入されるかを示し ます。



※1つのコンテンツビルディングブロック内へ、別のコンテンツビルディングブロックを挿入するこ とはできません。



3.5. 編集ツールバー

エディタエリア内に挿入したコンテンツビルディングブロックを選択すると、アウトライン化され横に平行方向の小さなツールバーが表示されます。



Beautiful content. Responsive. Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry. Read More

ツールバーでは以下の操作が可能となります。

アイコン	説明
ŧ	コンテンツビルディングブロックを上下に移動させます。
$\langle \rangle$	コンテンツビルディングブロックの HTML コードが表示され、編集が行えます。 ※簡易的な編集は可能ですが、詳細な編集については、 HeartCore Web エディタ ーをご利用ください。
+	コンテンツビルディングブロックをコピーし追加します。
×	コンテンツビルディングブロックを削除します。



3.6. カメラアイコン エディタエリア内のイメージを選択すると、イメージ上にカメラアイコンが表示されます。







3.7. リンクアイコン

エディタエリア内リンクを選択すると、"EDIT LINK"アイコンが表示されます。



Beautiful content. Responsive.

Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry.

8 EDIT LINK

Read More

アイコン	説明
Sedit link	リンクを置き換えることが可能です。
	※コンテンツの選択モーダルウィンドウが表示されます。

- 8 -



4. コンテンツビルディングブロックのカスタイマイズ

4.1. コンテンツビルディングブロックの作成 HeartCore で管理するページコンテンツで、特別なフォーマットを使って独自に定義し作成します。

【定義例】

<div data-cat="0,1" data-thumb="/builder/thumbnails/a01.png"></div>
<div class="row clearfix"></div>
<div class="column full"></div>
<div class="display"><h1>Lorem Ipsum is simply dummy text</h1></div>
<div data-cat="0,2" data-thumb="/builder/thumbnails/a02.png"></div>
<pre><div class="row clearfix"></div></pre>
<div class="column full"></div>
<div class="display"><h1>Lorem Ipsum is simply dummy text2</h1></div>

ます。 この DIV タグ内の data-thumb 属性には、表示させるサムネイル画像を指定します。 data-cat 属性には、右メニュー上部のプルダウンメニューで、どのカテゴリに合致させるかを番号 で指定します。(複数の場合はカンマ区切り) 内側の DIV タグで実際に挿入される内容を定義します。 ※カテゴリ番号については、後掲する「コンテンツスニペットカテゴリ」を参照ください。

※コンテンツビルディングブロックを作成する場合は、コンテンツフォーマットを「テキスト」で 作成下さい。

4.2. コンテンツスニペット HeartCore 管理画面より、設定 > 機能設定 > コンテンツ編集 > コンテンツビルダー の「コン テンツスニペット」項目で右メニューに出力するコンテンツビルディングブロックを選択します。 「選択」ボタンより選択下さい。

コンテンツスニペット		
- 標準 -	/	選択

Heart©ore

4.3. コンテンツスニペットカテゴリ

HeartCore 管理画面より、設定 > 機能設定 > コンテンツ編集 > コンテンツビルダー の「コン テンツスニペットカテゴリ」項目でコンテンツビルディングブロックのカテゴリ番号に対する名前を 定義します。

コンテンツスニペットカテゴリ	
[0, "デフォルト"],	
-1, ″すべて´´」, 「1 ″タマトリ″]	
[1, メイトル], [2.″タイトル、サブタイトル″].	
[3, "インフォ, タイトル"],	
[4, "インフォ,タイトル,サブタイトル"],	
[b,『見出し, 段洛"], 「ω ″ω菠″]	
[0, 12/14], [7.″段落. イメージ + キャブション″].	
[8,"見出し,段落,イメージ + キャプション"],	
[9, "イメージ + キャブション"],	
LIU, Youtube J, F11 <i>″イメージ″</i> コ	
[12,″単イメージ″],	
[13, ″コールトゥアクション″],	
L14,	
[10,51元], [16."プロファイル"].	
[17, "マップ"],	
[18, "ソーシャル"], [10, "豆 ‐‐‐」、	
L18, 区切り 」, 「20 ″ビデオ″]	

定義したカテゴリ名が右メニュー上部にあるプルダウンメニューで一覧表示されます。 選択すると、そのカテゴリに属するコンテンツビルディングブロックのみが表示されます。

デフォルト
デフォルト 🔷
すべて
タイトル
タイトル, サブタイトル
インフォ,タイトル
インフォ,タイトル,サブタイトル
見出し,段落
段落
段落, イメージ + キャプション
見出し, 段落, イメージ + キャプション
イメージ + キャプション
Youtube
イメージ
単イメージ
コールトゥアクション
リスト
引用
プロファイル
マップ
ソーシャル 🗸



HeartCore

5. @@@関数の利用方法

5.1. @@@ や ### を NOBR タグで囲みエスケープする方法

コンテンツビルディングブロックで宣言する関数の @@@ や ### を NOBR タグで囲みます。 【宣言例】

<nobr>@@@</nobr>include:123.title<nobr>@@@</nobr>

※上記例は、「@@@include:123.title@@@] 関数を NOBR タグで囲んだ場合の例となります。

5.2. カスタマイズした Java スクリプトを利用する方法

HeartCore 管理画面 設定>機能設定>コンテンツ編集>HeartCore Web エディター にて 「カスタマイズした Java スクリプト機能」項目に任意の値に対して加工を行う設定をします。 【宣言例】

function webeditor_custom_builder_content(content) {
// 何らかのコンテンツの加工処理を記述
content = content.replace(/@@@/gi, '@@@');
return content;
}

※上記例は、全角「@@@」の記述を半角「@@@」へ変換する場合の例となります。 コンテンツビルディングブロックで全角の「@@@」にて宣言されている場合 HeartCore Web エディター側に適用する際、半角「@@@」へ変換されます。



6. 注意事項

6.1. コンテンツビルディングブロックについて

コンテンツビルディングブロックは、コンテンツ編集画面下部にあるコンテンツフォーマットを「テ キスト」に設定した後に作成下さい。

6.2. @@@関数について

「5. @@@関数の利用方法」に記載されている機能は、HeartCore v11 以降の機能となっております。v10 にてご利用頂く場合はパッチの適用が必要となりますので、別途お問い合わせください。

6.3. スタイルシートについて

コンテンツビルダーは、スタイルシートに一般的なクラス名を利用しております。従いまして、固有 のスタイルシートをご利用頂く際に、クラス名の競合が発生する場合があり、画面表示に影響を及ぼ す可能性がございます。下記、コンテンツビルダーのスタイルシート情報を参考に、固有のスタイル シート定義にてクラス名の競合が起こらないよう、ご注意ください。

セレクタ	プロパティ・値
container	margin: 0 auto;
	max-width: 980px;
	width: 90%;
.row	padding-top:10px;
	padding-bottom:10px;
.column	float: left;
	padding-left: 1.32rem; /* 1rem */
	padding-right: 1.32rem;
	-moz-box-sizing: border-box;
	-webkit-box-sizing: border-box;
	box-sizing: border-box;
.column.full	width: 100%;
.column.two-third	width: 66.7%;
.column.two-fourth	width: 75%;
.column.two-fifth	width: 80%;
.column.two-sixth	width: 83.3%;
.column.half	width: 50%;



セレクタ	プロパティ・値
.column.third	width: 33.3%;
.column.fourth	width: 25%;
.column.fifth	width: 20%;
.column.sixth	width: 16.6%;
.column.flow-	float: right;
opposite	
.clearfix:before	content: " "; display: table;
.clearfix:after	content: " "; display: table; clear: both:
.clearfix	*zoom: 1;
.center	text-align:center
.right	text-align:right
.left	text-align:left
img.circle	border-radius:500px; margin-top:0;
img.bordered	border: #ccc 1px solid;
.embed-responsive	position: relative; display:block; height:0; padding:0; overflow:hidden:



セレクタ	プロパティ・値
.embed-	padding-bottom: 56.25%;
responsive.embed-	
responsive-16by9	
.embed-	padding-bottom: 75%;
responsive.embed-	
responsive-4by3	
.embed-responsive	position: absolute; top:0;
iframe	bottom:0; left:0;
	width:100%;
	height:100%;
	border:0;
.column > img	margin-top: 1em; margin-bottom: 1em;
.column > figure	
.column > .embed-	
responsive	
.list	position:relative;
.list > i	position:absolute; left:-3px;
	top:-13px;
	font-size:2em;
.list > h2, .list > h3	margin: 0 0 0 50px
.list > p	margin: 0 0 0 50px



セレクタ	プロパティ・値
.quote	position:relative;
	margin:1.5em 0;
.auote > i	position: absolute;top: -10px;
	left: -7px;
	font-size: 2em;
	color:rgba(51,51,51,0.44);
.auote > p	margin-left:50px;
	font-size: 1.5em;
.btn	padding: 7px 25px;
	font-size: 1em;
	line-height: 2em;
	border-radius: 5px;
	letter-spacing: 1px;
	display: inline-block;
	margin-bottom: 0;
	font-weight: normal;
	text-align: center;
	text-decoration: none;
	vertical-align: middle;
	cursor: pointer;
	background-image: none;
	border: 1px solid transparent;
	white-space: nowrap;
	-webkit-transition: all 0.3s ease-in-out;
	transition: all 0.3s ease-in-out;
.btn.btn-primarv	color: #ffffff;
	background-color: #08c9b9;
.btn.btn-	color: #ffffff;
	background-color: #07b0a2;
primary:hover	border-color: #07b0a2;
.btn.btn-default	color: #333333;
	background-color: #d3d3d3;
.btn.btn-	color: #111;
	background-color: #ccc;
default:hover	border-color: #ccc;



セレクタ	プロパティ・値
.social	line-height:1;
	margin-bottom:1.5em
social a > i	text-decoration:none;color:#333;
	font-size:1.2em;
	margin:0 5px 0 0;
	-webkit-transition: all 0.1s ease-in-out;
	transition: all 0.1s ease-in-out;
.social a:hover > i	color:#08c9b9;
Course la du	position: relative;
figure.nar	width: 100%;
	overflow:hidden:
	background-color: #000;
figure bdr ima	position: relative;
ngure.nar img	display: block;
	width: 100%;
	opacity: 0.8;
	-webkit-transition: opacity 0.35s, -webkit-transform 0.35s;
	transition: opacity 0.35s, transform 0.35s;
	-webkit-transform: scale(1.2);
	transform: scale(1.2);
figuro bdr:bovor ima	opacity: 0.5;
	-webkit-transform: scale(1);
	transform: scale(1);
figure bdr figcaption	position: absolute;
ngure.ndr figcaption	top: auto;
	bottom: 0;
	left: 0;
	width: 100%;
	height: 60%;
	padding: 0 2.5em;
	color: #fff;
	font-size: 1.55em;
	text-align: center;
	box-sizing: border-box;
	z-index:1;



セレクタ	プロパティ・値
figure.hdr h2	font-weight: 300;
	text-transform: uppercase;
figure.hdr h2 span	font-weight: 800;
figure bdr p	letter-spacing: 1px;
	font-size: 68.5%;
	text-transform: uppercase;
figure hdr h2	margin: 0;
	z-index:10000;
figure.hdr p	
figure bdr div	height: 100%;
	z-index:0;
figure hdr div before	position: absolute;
	content: ";
figure.hdr div::after	
figure.one div::before	top: 50px;
	right: 30px;
	bottom: 50px;
	left: 30px;
	border-top: 1px solid #fff;
	border-bottom: 1px solid #fff;
figure.one div::after	top: 30px;
	right: 50px;
	bottom: 30px;
	left: 50px;
	border-right: 1px solid #fff;
	border-left: 1px solid #fff;
figure.two div::before	top: 30px;
	right: 30px;
	bottom: 30px;
	left: 30px;
	border-top: 1px solid #fff;
	border-bottom: 1px solid #fff;



セレクタ	プロパティ・値
figure.two div::after	top: 30px;
	right: 30px;
	bottom: 30px;
	left: 30px;
	border-right: 1px solid #fff;
	border-left: 1px solid #fff;
figure.three	height: 70%;
figcaption	
figure.three p	margin: 1em 0 0;
	padding: 2em;
	border: 1px solid #fff;
figure four figcaption	height: 60%;
ngurenour ngeuption	text-align: left;
figure four p	position: absolute;
	right: 50px;
	bottom: 50px;
	left: 50px;
	padding: 2em;
	border: 7px solid #fff;
figure five figcaption	height: 100%;
	text-align: right;
figure five h2	position: absolute;
	left: 50px;
	right: 50px;
	top: 10%;
	border-bottom: 5px solid #fff;
figure five p	position: absolute;
ngurenive p	right: 50px;
	bottom: 10%;
figure.six figcaption	height: 70%;
figure.six h2	padding-bottom: 3%;
	border-bottom: 1px solid #fff;
figure.six p	padding-top: 6%;



セレクタ	プロパティ・値
figure.seven	height: 90%;
	text-align:left;
figcaption	
figure.seven h2	border-bottom: 3px solid #fff;
figure.seven p	padding-top: 1em;
figure eight figcantion	height: 100%;
	text-align: right;
figure eight h2	position: absolute;
	left: 50%;
	right: 50px;
	bottom: 10%;
figure.eight p	position: absolute;
	left: 50px;
	right: 50%;
	top: 10%;
	padding-right:0.5em;
	border-right: 1px solid #fff;

以上